



昔懐かしい福武線の木造駅舎

越前市北府、鯖江市神明町など

20km 余りの私鉄ローカル線に乗って小さな旅に…。名古屋や岐阜で活躍していた懐かしい電車がのどかな田園地帯を丁寧に一駅一駅客を乗降させながら走っていく。レトロな木造駅舎を見たくて途中下車。見どころいっぱい。



北府駅

越前市中心部にある福井鉄道福武線の北府駅は、大正 13 年（1924）に建てられた、大正時代そのままの姿を残している木造建築の駅舎です。

駅舎に入ると、木枠の窓ガラスや古びた木製のベンチ、むき出しの蛍光灯などがあり、レトロな雰囲気味わえます。携帯電話会社のテレビコマーシャルの撮影舞台になったことでも有名です。



駅舎内部



北府駅に近接する木造の車両基地



神明駅①

鯖江市神明町にある神明駅は、大正 13 年（1924）に建てられた木造平屋建ての駅舎です。

ここはかつて、陸軍歩兵第 36 連隊の駐屯地があり、当時の駅名は「兵營」といい、有事には多くの兵士がこの駅から出征しました。

鯖江市内の市道に架かる鉄道橋は、大正 13 年頃に建築されたもので、無骨なリベットやコンクリート橋脚と、元三大師が開いた中道院の杉の大木が絶妙のコントラストを醸しだしています。

中道院は「すりばちやいと」のお寺として有名です。



中道院横の鉄道橋（鯖江市長泉寺町）②



中道院のすりばちやいと③